

「原点にたちかえり 研究開発を考えよう」



“Back to the root of Kansai’s Corporate Mission”

常務取締役
第一事業部長
大谷敏信
Toshinobu
Ohtani

『塗料の研究』をいつもご愛読戴き、また弊社の技術開発
に対しての貴重なご意見並びにご提言を頂戴いたして
おりますこと大変感謝申し上げます。

私ども関西ペイントの社是の第一は、「会社の信用を重ん
じ、顧客に満足される製品を供給することによって社会に貢
献する。」という文言であります。この中で「顧客に満足され
る」ということの意味は、直接に塗料を使って戴いているユー
ザー様は勿論、私どもの塗料が塗られることによって、価値が
付与された商品を購入されるお客様すべてに満足をいただ
く製品を供給することだと思います。

そのためには、コストも大事なファクターです。いくら素晴ら
しい発明であってもコストが掛かりすぎるのでは、お客様の満
足は得られません。私どもの製品コストだけでなく、ユーザー
様でのアプリケーション・コストも考慮に入れたトータル・コスト
を低減する技術開発こそが、お客様に満足される製品作り
だと思います。

また、環境問題は最も重要な課題のひとつと言えます。私
どもは1992年に「地球環境問題に関する会社方針」を制

定し、さらに1995年にレスポンスブル・ケアの実施を宣言、以
来、環境・安全・健康問題に積極的に取組み、着々と成果を
あげて参りました。粉体・水性塗料の開発をはじめ、最近の
話題としては、回収されたPETボトルから塗料用樹脂を製
造する技術、廃塗料のリサイクル・システムなどはお耳に新し
いことと存じます。しかし、これに甘んじることなく、今まで以上
に地球環境にやさしい製品・技術を産み出す努力を続ける
ことが、「社会に貢献する」ことに繋がると確信しております。

弊社では本年4月に全面的な研究開発体制の再構築を
行ないました。従来の4研究所体制から、より機能性を発揮
できるような新しい組織体制で臨んでいます。この再構築の
目的は、より一層お客様のご要望を早く適確にキャッチし、技
術開発のスピードアップを図るのが狙いです。研究開発の実
がたわわにみえることを期待しています。

弊社の社是の第二は、「英知を育て、技術の革新をはかり、
つねに経営の前進につとめる。」ことでもあります。今後ともこの
精神に基づき英知を結集して、お客様に満足して戴くことを
第一義に掲げ、より良い製品と技術を開発することにより社
会への更なる貢献をお約束し、ご挨拶とさせていただきます。